

初期臨床研修医募集



独立行政法人 労働者健康安全機構

福島労災病院

—あなたが変える いわき市の医療—



福島労災病院
院長 齋藤 清

-当院は-

東北第二の人口を持ついわき市の救急医療・急性期医療を担う中核病院と地域医療支援病院（いわきで最初に認定）としての役割を果たしています。

-診療領域では-

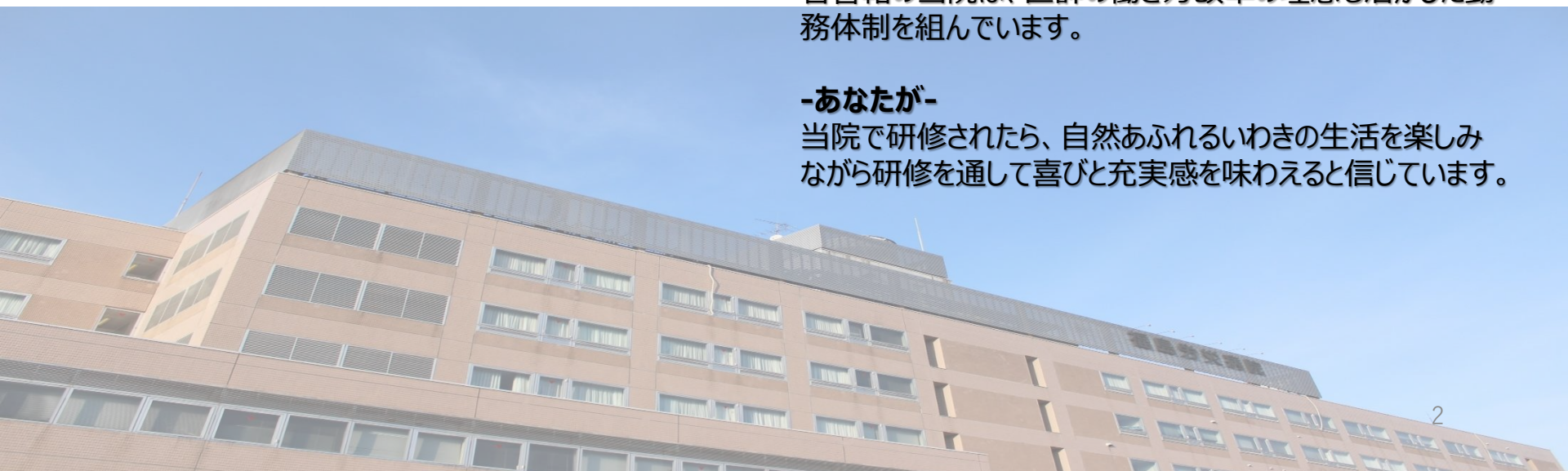
地域の高齢化によって増加した生活習慣病とそれに起因する血管疾患やがん（当地で初めての地域がん診療連携拠点病院）の診療に特に力を入れています。

-いわき市は-

中核市の中で最も病院勤務医が不足しており、全ての診療科の医師の社会的価値が高いと言えます。一方、厚労省管轄の当院は、医師の働き方改革の理念も活かした勤務体制を組んでいます。

-あなたが-

当院で研修されたら、自然あふれるいわきの生活を楽しみながら研修を通して喜びと充実感を味わえると信じています。



【労災病院グループとは】

全国に**32**病院があります。病院間の交流・連携が盛んです。そのため当院は、全国水準の病院です。
2023年度は労災病院グループでたくさんの研修医が学んでいます。

1. 北海道中央労災病院
2. 釧路労災病院
3. 青森労災病院
4. 東北労災病院
5. 秋田労災病院
6. **福島労災病院**
7. 千葉労災病院
8. 東京労災病院
9. 関東労災病院
10. 横浜労災病院
11. 新潟労災病院
12. 富山労災病院
13. 浜松労災病院
14. 中部労災病院
15. 旭労災病院
16. 大阪労災病院
17. 関西労災病院
18. 神戸労災病院
19. 和歌山労災病院
20. 山陰労災病院
21. 岡山労災病院
22. 中国労災病院
23. 山口労災病院
24. 香川労災病院
25. 愛媛労災病院
26. 九州労災病院
27. 九州労災病院門司メディカルセンター
28. 長崎労災病院
29. 熊本労災病院
30. 吉備高原医療リハビリテーションセンター
31. 総合せき損センター
32. 北海道せき損センター



福島労災病院



**From Japan
to IWAKI.**

福島県二次医療圏域



いわき医療圏域

診療圏の医療機関状況

いわき医療圏地区別人口

(令和3年5月1日現在)

地区名	人口(人)	地区名	人口(人)
内郷	25,962	小川	6,365
平	97,264	好間	12,798
小名浜	82,773	三和	2,612
勿来	47,962	田人	1,357
常盤	33,197	川前	899
四倉	13,942	九之浜	4,703
遠野	4,911	合計	334,745



【病院概要】

開設者	理事長 有賀 徹
管理者	院長 齋藤 清
承認病床数	399床 (336床稼働：一般266床、緩和ケア27床、地域包括ケア43床)
診療科	内科(総合内科・血液・腫瘍内科・腎臓内科・糖尿病内科)、心療内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ・膠原病内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科
専門センター	勤労者メンタルヘルスセンター、呼吸器疾患センター、消化器病センター、運動器疾患センター、栄養サポートセンター
専門外来	甲状腺内分泌外来、乳腺甲状腺外来、脊椎外来、リウマチ外科外来、禁煙外来、ペースメーカークリニック、ストーマックリニック
主な医療機器	CT (64列)、MRI (1.5T)、リニアック治療装置、ガンマナイフ、アンギオ装置、骨密度、ESWL、フルデジタルX線TVシステム



福島労災病院

診療実績 (2023年度)

1日平均入院患者数	255.1人
1日平均外来患者数	558.2人
病棟利用率	75.9%
平均在院日数	15日
救急搬送 (救急車/年)	2,323人
救急搬送 (救急車/日)	6.3人
他院からの紹介率	90.5%
他院への逆紹介率	106.1%

各科常勤医人数 (2024年度)

診療科名	内科	呼吸器	消化器	循環器	リウマチ 膠原病内科	外科	整形	脳外	眼科	耳鼻科	放診断	病理	合計
常勤 医師数	2	1	10	5	1	9	3	3	1	1	1	2	39

【福島労災病院はいわき市の医療を支える中核病院】

【特長】

○地域がん診療連携拠点病院に準ずる病院（福島県指定見込）

当院は、平成15年8月26日に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、いわき地区におけるがん医療の中心的な役割を担い、チーム医療での質の高い「がん医療」の提供を行っています。（令和3年度福島県指定見込）

○緩和ケア病棟(27床)

当院では、がんなどの悪性腫瘍を患った患者さんのからだやこころの苦痛、不安などを和らげ、ご家族とともに、その人らしい人生をおくっていただけるように、緩和ケア病棟を設置しています。

○地域包括ケア病棟（43床）

手術や検査等が終了した後、直ぐに在宅復帰するには不安が残る患者さまに対してご自宅等への退院準備をしっかりと整え、安心してご自宅等にお帰りいただけるよう退院支援を行うことを目的とした病棟です。

○地域医療支援病院(福島県知事承認)

当院は、地域医療支援病院の指定を受け、紹介患者さまに対する医療提供、医療機器等の共同利用等を通じて、かかりつけ医を支援する地域医療体制の中核を担っています。いわき市で240名の開業医・勤務医と連携登録し協力。

○消化器病センター

当院では、消化器病センターを設置し、消化器疾患について、従来の消化器内科医と外科医（消化器領域）がより密接に連携をはかることにより、患者さんにとってより迅速かつ効率的で、より優しい医療の提供を目指しています。

○運動器疾患センター

当院では、運動器疾患について、「運動器はヒトが行動し、生活し、幸福を求める権利である」という観点に立ち、疾病、治療に限定せず、予防、教育、提言を考える場として、運動器疾患センターを設置しています。

○呼吸器疾患センター

当院では、じん肺、肺炎、肺気腫、気管支喘息、呼吸器科疾患の内科的診断・治療から外科的治療まで一貫して行える体制を確立し、患者さんにとってより迅速な医療の提供を目指し、呼吸器疾患センターを開設しています。

2024年度
初期臨床研修
概要



3つの特長

- ①少数精鋭（1学年2名）
 - ・マンツーマンで指導します。
 - ・柔軟な研修プログラムが可能です。（一人ひとりにあわせて対応します）
- ②基本技術と総合的診断能力の育成
 - ・地域医療支援病院ならではの豊富な症例数があります。
- ③学閥なく風通しのよい医局
 - ・常勤医師は37名で出身は全国津々浦々の12大学です。



【2024年度初期研修医プログラム内容①】

研修科の時期については、プログラム責任者、各科責任者、研修医と相談の上、調整。

1年目	科目	28週	12週	12週
	科目	内科	外科	選択科
	研修場所	当院		

2年目	科目	4週	4週	8週	4週	4週	4週	24週
	科目	産婦人科	小児科	救急部門	精神科	地域医療	麻酔科	選択科
	研修場所	福島県立医科大学			舞子浜病院	協力施設	当院	

- 一般外来研修は、内科又は地域医療において並行研修する。
- 必修科目の「内科」・「外科」・「麻酔科」は当院で行う。
- 必修科目の「救急」・「産婦人科」・「小児科」は福島県立医科大学で行う。
- 必修科目の「精神科」は市内の舞子浜病院で行う。
- 地域医療は、次ページの協力施設で診療所の機能や役割について研修する。
- 選択科目は内科・外科・麻酔科・整形外科・脳神経外科・病理・耳鼻咽喉科・眼科・地域保健から選択し、当院で研修を行う。

研修プログラム及びその評価などについては、上記の臨床研修委員と当院の臨床研修管理委員での合同臨床研修委員会を設置し調整・決定する。

【2024年度初期研修医プログラム内容②】

福島労災病院	内科系
	消化器内科
	循環器内科
	呼吸器内科
	腎臓内科
	血液・腫瘍内科
	リウマチ・膠原病内科
	外科
	麻酔科
	整形外科
	脳神経外科
	耳鼻咽喉科
	眼科
病理	
福島県立医科大学	救急部門
	小児科
	産婦人科
磐城済世会舞子浜病院	精神科
おおくぼ胃と腸内科クリニック	地域医療
山内クリニック	
かとう内科クリニック	



参考：舞子浜病院



参考：地域医療
(市内のクリニック)

【初期臨床研修プログラム・総論】

【名称】

福島労災病院初期臨床研修プログラム

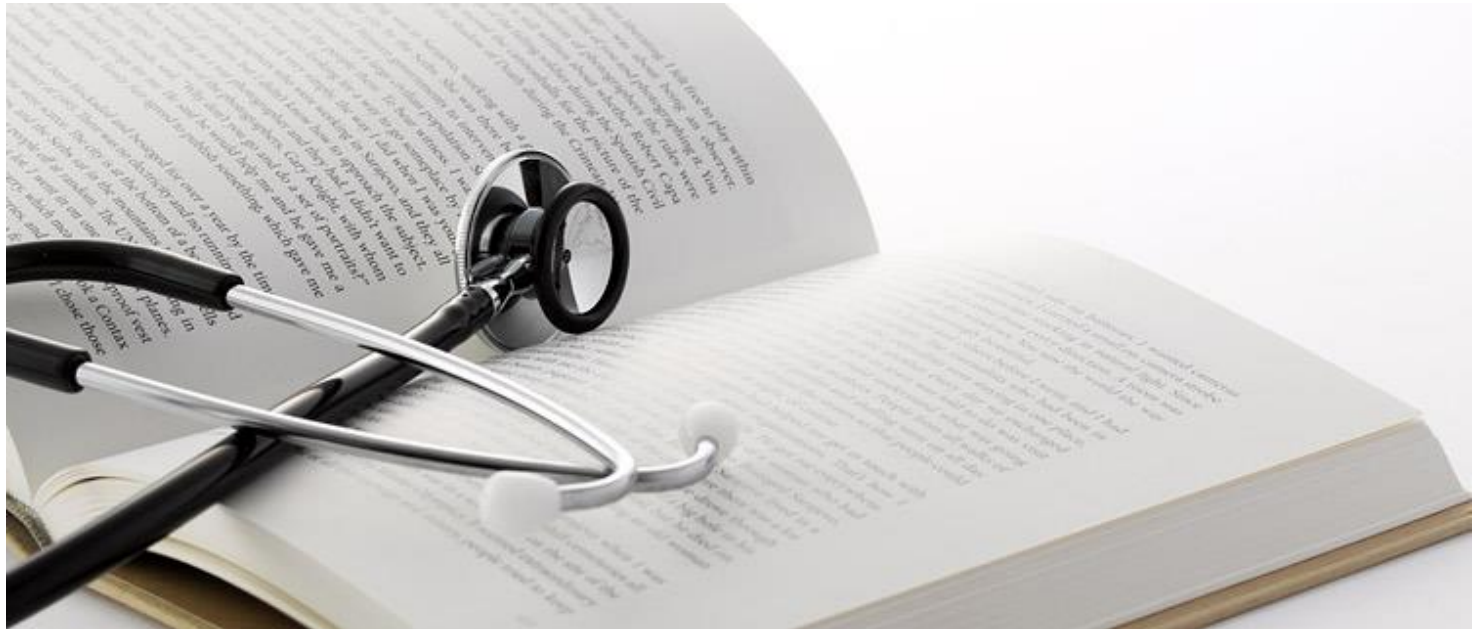
【プログラムの目標】

医師としての人格を涵養し、プライマリケアに対処する第一線の臨床医、或いは高度の専門医のいずれを目指すにも必要不可欠な診療に関する基本的な知識、技能及び態度の習得を目的とする。

【一般的目標】

- ① すべての臨床医に求められる初期診療の基本的臨床能力を身につけること。
 - a バイタルサインを正しく把握し、生命維持に必要な初期の処置を的確に行うことができること。
 - b 初期診療に必要な最小限の情報収集ができ、迅速に治療、検査計画を立て指示し、かつ実施することができること。
- ② 頻度の高い疾患や外傷の診断と治療ができること。
- ③ 救急の初期治療ができること。
- ④ 適切な時期及び方法で、他科及び上級医に紹介できること。
- ⑤ チーム医療を理解し、実践できること。
- ⑥ 医療情報、診療内容を正しく記録する習慣を身につけ、正確に他に伝達できること。
- ⑦ 自己の臨床能力向上に不可欠な症例呈示と意見交換が出来ること。
- ⑧ 患者及びその家族との信頼関係を醸成できること。
- ⑨ 疾患の予防、健康管理、リハビリテーションについて理解し、基本的医療計画ができること。
- ⑩ 患者ならびに医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身につけること。
- ⑪ 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献する医療を推進できること。
- ⑫ 労災病院としての政策医療である勤労者医療を実践出来ること。

各診療科 研修スケジュール 研修指導医紹介



【消化器内科の紹介①】

【特徴】

消化器科の理念として、誠実な医療の提供とチーム医療の実践を掲げています。
 診断・治療においては、薬物療法、内視鏡、超音波、放射線、血管造影、核医学検査等を駆使し、患者さんの個々の病態を考慮した診療をしています。手術が必要と判断した病気は、速やかに外科へ紹介します。
 ※自己の研鑽と共に、消化器科の診療レベルアップを目指して、積極的な学術活動を心掛けています。
 臨床研修指導施設として、研修医の受け入れ体制の充実も計っています。消化器専門医を目指す若手医師にとって良い修練の場に成り得ると考えています。

【スケジュール】

	月	火	水	木	金
8:00～ 8:15	病棟カンファレンス				
午前	紹介外来 再診外来 上部内視鏡 病棟回診	紹介外来 再診外来 上部内視鏡	紹介外来 内視鏡治療 エコー治療 上部EMR・ESD EUS-FNA 肝生検 RFA	紹介外来 再診外来 上部内視鏡	紹介外来 再診外来 上部内視鏡
午後	大腸内視鏡	大腸内視鏡 大腸ポリペクトミー 腹部アンギオ	透視下治療 ERCP EIS PTCD 等	大腸内視鏡 大腸ポリペクトミー	
17:00～		肝・膵疾患カンファレンス		内科外科合同カンファレンス	

【消化器内科の紹介②】

【研修指導医】



江尻医師

診療科	氏名 (ふりがな)	医学部卒業年	診療分野	コメント
消化器内科	江尻 豊 (えじり ゆたか)	1987年	消化器一般 禁煙指導	チームワークを大事にして頑張りましょう。
	鈴木 智浩 (すずき ともひろ)	1991年	消化器一般 肝臓病学	肝臓病を中心に消化器全般の診療をしています。 受診する患者さんの数が多く検査や処置の件数も多いため十分な研修が出来ると思います。
	田井 真弓 (たい まゆみ)	1993年	消化器一般	消化器全般を担当しています。消化器の緊急処理や幅広い消化器症例を経験できます。
	市井 統 (いちい おさむ)	1998年	消化器一般	症例が多いので消化器疾患について十分な経験が積めると思います。

【特徴】

当科はいわき市のみならず浜通り地区の循環器疾患の患者に対し外来診療、入院診療、救急診療、産業保健を通して近隣の医療機関と連携を密にして対応しています。
地域の医師減少傾向の中で常勤医6人体制が維持できているので、これからも常時24時間緊急オンコール体制で急性心筋梗塞などの救急医療に積極的な対応を行っていきます。

【スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	外来 心電図実習 心エコー実習 心筋シンチ 病棟	外来 心筋シンチ 病棟	外来 病棟回診 症例検討 心カテ前処置	外来 病棟 心電図読影 心カテ前処置	外来 病棟
午後	心エコー実習 ペースメーカー外来	外来	心カテ	心カテ 肺高血圧外来 (第2木曜日) シネカンファランス	病棟

【研修指導医】



吉成医師

診療科	氏名（ふりがな）	医学部卒業年	診療分野	コメント
循環器内科	鈴木 重文 (すずき しげぶみ)	1981年	虚血性心疾患 心不全、心臓核医学 労働衛生	循環器内科は他の領域の内科疾患と深く関連しており全身管理のために欠かせません。心よりお待ちしております。
	吉成 和之 (よしなり かずゆき)	1992年	虚血性心疾患 心不全	当院は地域に根ざした病院です。慢性疾患、高齢者も多く課題もありますがやりがいがあります。一緒に学び、考えていきましょう！
	渡邊 康之 (わたなべ やすゆき)	1993年	虚血性心疾患 心不全、不整脈	ぜひお待ちしております。
	三戸 征仁 (さんど まさひと)	1995年	虚血性心疾患 心不全、不整脈	一緒に頑張りましょう。新患対応について指導致します。
	八重樫 大輝 (やえがし だいき)	2014年	心不全 心臓リハビリテーション	循環器疾患診療を心臓リハビリテーションと一緒に頑張りましょう。

【特徴】 最近では肺癌患者が増えています。また高齢化により嚥下性肺炎の患者も増えており、肺癌も嚥下性肺炎も治りにくい病気で亡くなる患者も多い科です。最近では中高年になってから発症する喘息が増えています。また中高年の女性に非定型抗酸菌症という病気も増えてきています。現在死亡する癌患者で一番多いのは肺癌患者です。肺癌は症状が出にくく早期発見が大切になります。年1回は健診を受けて頂きたいです。

浜通り地区には呼吸器内科の医者が少ないために、呼吸器内科の専門医がいる病院に患者が集中する傾向があります。北は相馬市、南は北茨城、西は田村郡の診療所や病院から患者が紹介されています。

【スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	外来	外来	外来
午後	病棟 気管支鏡検査	病棟	病棟	病棟 気管支鏡検査	病棟

【研修指導医】



石原医師

診療科	氏名(ふりがな)	医学部卒業年	診療分野	コメント
呼吸器内科	石原 俊晴 (いしはら としはる)	1976年	呼吸器一般	呼吸器疾患患者は数が多く、多数の症例を経験出来ます。指導医のもとで気管支鏡検査の実施が可能です。

【血液・腫瘍内科の紹介】

【特徴】

血液・腫瘍内科は、内科に所属しています。腫瘍内科としては、抗がん剤薬治療を主に実施しています。血液・腫瘍内科の対象疾患は肺がん、リンパ腫などの造血器腫瘍、乳がん、その他の悪性腫瘍全般となります。

【平成29年度の入患・外来患者別内訳】

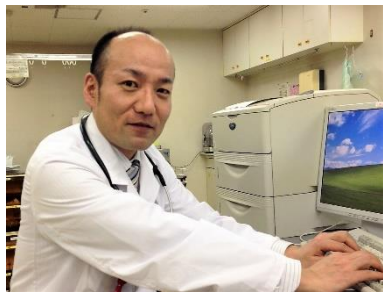
外来：延べ患者数2,748名／新患は65名／紹介患者は62名

入院：235名（主な疾患：肺がん177名、悪性軟部腫瘍18名、悪性リンパ腫11名）

【スケジュール】

月	火	水	木	金
外来 気管支鏡検査	外来	水 回診 処置	木 外来 気管支鏡検査 緩和ケアラウンド カンファレンス	金 回診 処置

【研修指導医】



石塚医師

診療科	氏名（ふりがな）	医学部 卒業年	診療分野	コメント
腫瘍内科	石塚 光 （いしづか ひかる）	1990年	腫瘍内科、 血液内科 緩和ケア	<ul style="list-style-type: none">・当科のキーワードは「がん化学療法」です。・造血幹細胞移植や急性白血病の抗がん薬治療のような高度専門的な治療は行っておりませんが、臓器横断的な視点でがん化学療法と緩和ケアと地域連携を経験する機会を提供できます。・ITP等の血球減少など、血液内科の非腫瘍性疾患も経験できます。

【腎臓内科の紹介】

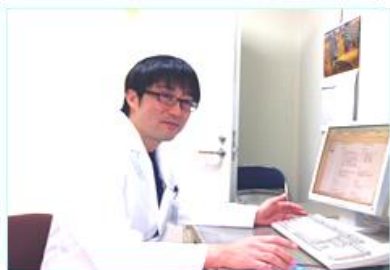
【特徴】

内科に所属し、腎臓疾患、糖尿病、高血圧症、代謝、内分泌疾患に対して診療を行っています。また泌尿器科とともに透析治療にも携わっています。（主に透析導入/入院透析※4床）外来看護師・薬剤師・栄養士と共に糖尿病教室は定期開催しています。
 かかりつけ医、近隣医療機関との病診・病病連携による体制で診療を進めています。
 必要に応じて福島県立医科大学腎臓高血圧内科、糖尿病内分泌代謝内科とも連携。

【スケジュール】

月	火	水	木	金
外来 病棟 透析 透析カンファレンス	外来 病棟	病棟 透析 病棟カンファレンス (隔週)	外来 病棟	外来 病棟 透析

【研修指導医】



草野医師

診療科	氏名(ふりがな)	医学部卒業年	診療分野	コメント
腎臓内科	草野 裕樹 (くさの ひろき)	2002年	腎疾患・透析治療 糖尿病一般 内分泌代謝性疾患	腎疾患、腎不全管理について外来・入院診療での研修が可能です。透析治療にもあたっております。糖尿病一般、内分泌疾患について外来、入院診療での研修が可能です。

【リウマチ・膠原病内科の紹介】

【特徴】

リウマチ・膠原病は、内科疾患の中でも診断が難しく、確定診断までに時間がかかることも多い疾患です。専門医でないと診断がつかず、治療できないことがよくあります。全国的にリウマチ・膠原病の専門医は不足しており、福島県も同様で、とりわけいわき地区は少ない状況でしたが、今後は、地元で専門的治療を受けることができます。連携先として、福島県立医科大学リウマチ・膠原病内科、太田西ノ内病院リウマチ科と連携を取ります。重症の場合は福島医科大学に紹介、入院を依頼します。退院後は当院に通院できます。主な対象疾患は、関節リウマチ、膠原病、リウマチ性多発筋痛症、成人スチル病など。

【スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	病棟	再来外来	新患外来	禁煙外来	再来外来
午後	福島医大教授 外来（月1回）	病棟	ICT・AST ラウンド	病棟	病棟

【研修指導医】



佐々島医師

診療科	氏名（ふりがな）	医学部 卒業年	診療分野	コメント
リウマチ・ 膠原病 内科	佐々島 朋美 （ささじま ともみ）	1994年	リウマチ・ 膠原病	当院はいわき地区でリウマチ・膠原病の初期研修ができる唯一の施設です。日本リウマチ学会の教育施設に認定されています。リウマチ・膠原病の診断から治療まで幅広く学ぶことができます。お待ちしております。

【特徴】

当科では、がんに対して手術や抗癌剤、放射線の治療を行い、さらに在宅医療(往診)も行います。抗癌剤治療は、薬剤師と看護師の協力のもと、できるだけ外来通院で行うことを基本にしています。化学療法(抗がん剤治療)を、点滴漏れなどの障害なく安全に行うために、太い血管内にカテーテルを留置し、皮下に埋め込んだ装置(V-port)を介して治療を行っています。継続的医療実践の一環として在宅医療(往診)を行っていますが、医師単独での往診は避け、看護師を同伴し、病棟回診と同じように、外科チームとしての在宅往診(チーム往診)を試みています。がんの集学的かつ継続的治療の一環として、治療が困難となったがん終末期の患者さんに対しては、手術療法や疼痛管理、輸液など、積極的ながん緩和医療を行っています。

【スケジュール】

	月	火	水	木	金
7:30~8:00	抄読会				
8:15~8:30	多職種モーニングカンファレンス				
8:30~17:00	定期手術 (午前・午後)	定期手術 (午前・午後)	定期手術 (午前・午後)	定期手術 (午前)	定期手術 (午前・午後)
9:30~12:00				総回診	
17:00以降	術前カンファレンス 18:30~20:00			消化器内科とのジョ イントカンファレンス 17:00~18:00	

【研修指導医】



武藤医師

診療科	氏名 (ふりがな)	医学部 卒業年	診療分野	コメント
外科	武藤 淳 (むとう あつし)	1983年	消化器外科 緩和医療	症例が多いのではやく一人前の外科医になりたい方を歓迎します。
	又吉 一仁 (またよし かずひと)	1984年	消化器外科 乳腺外科 緩和医療	消化器外科、乳腺外科手術を一緒にやりましょう。
	宮澤 正紹 (みやざわ まさあき)	1987年	消化器外科 肝胆膵外科 内視鏡外科 感染制御医 (ICD)	我々は、君を待っている。
	石井 恒 (いしい こう)	2002年	外科一般	一緒に頑張りましょう。
	松井田 元 (まついだ はじめ)	2011年	外科一般	
	平井 文子 (ひらい あやこ)	2003年	呼吸器外科	

【整形外科の紹介】

【特徴】

現在、毎日手術、外来診療を1～4診体制で行っています。

専門外来は、脊椎外来、リウマチ外来を実施しています。対応困難な疾患は、適宜紹介にて対応を行っています。

運動器疾患センターは「運動器はヒトが行動し、生活し、幸福を求める権利である」という観点から、疾患、治療に限定せず、予防、教育、提言などを考える場として作られました。従来の組織にこだわらず、難しい症例の相談や、骨粗鬆症や転倒などの教室、メディアへのわかりやすい解説、施設、職場への講師派遣を行う予定です。

【スケジュール】

	月	火	水	木	金
8:15～ 8:30	モーニングカンファレンス				
	外来 病棟・検査・手術 術前術後カンファ レンス	外来 リハビリ外来 病棟・検査・手術	外来 脊椎外来 リウマチ外科外来 病棟・検査・手術 リハビリカンファレンス	外来 病棟・検査・手術	外来 病棟・検査・手術

【特徴】

内視鏡や手術時の材料の病理組織診を実施しています。また尿・喀痰をはじめ、ガン検診等の細胞診検査も実施しています。病理組織診検査、術中迅速組織検査、細胞診検査に対応しています。福島医大病理病態診断学講座より非常勤医が応援に来て頂いています。

【スケジュール】

月	火	水	木	金
切り出し・病理診断・細胞診診断 術中迅速診断・剖検は随時				

【研修指導医】



箱崎医師

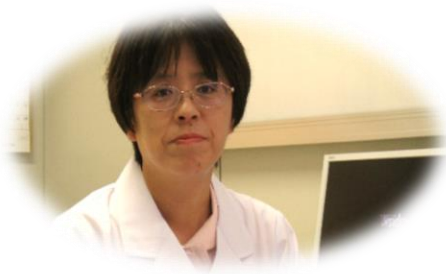
診療科	氏名（ふりがな）	医学部卒業年	診療分野	コメント
病理	箱崎 半道 (はこざき はんどう)	1970年	病理診断	病理診断は治療方針、患者様の予後の予測を判断するのに非常に重要な分野です。患者様との直接の接点はありませんが、顕微鏡を通して常に患者様と対話しております。将来、病理医を目指す人は勿論ですが、臨床医となられる方も病態を肉眼的、顕微鏡的に観察するトレーニングは有用です。愚生も大学卒業時に病理の先生から「長い人生の間、3年くらい病理で廻り道をするのも良いことですよ」と言われ、病理の医局に入局しました。ところが3年どころか、今でも病理から足を洗うことが出来ておりません。奥の深いことこの上なしです。

【指導医からのメッセージ】

「お互いの顔が見える」規模の病院だからチーム医療が充実

当院の指導医は、各分野の専門医が多数揃っており、さまざまな症例に対応することができます。指導医は皆熱心で、少数の研修医だからこそ、マンツーマンのきめ細やかな指導と進路相談を含めた人生相談まで行うことができます。

当院はいわき医療圏の第2の中核病院であり、どの科も紹介患者数が多く、症例が豊富で、初期研修中に必要な症例のほとんどを経験することができます。さらに、各科の医師間の垣根が低く、気軽にコンサルテーションでき、困った時はいつでも助けてもらえます。また、コメディカルスタッフのチームワークもよく、気さくに話ができます。「お互いの顔が見える」規模の病院だからこそ、チーム医療は充実しています。病院全体で研修医を歓迎します。やる気のある方をお待ちしています。



リウマチ/
膠原病内科主任部長
佐々島 朋美医師

メディカルスタッフがとても頼りがいのある病院

一時学位の取得のために大学に戻り、2度目の着任時から20年勤務していますが、以前に比べ格段に医者が仕事をしやすい雰囲気、環境が整い始めています。とくにメディカルスタッフ（看護師・薬剤師など）の体制が整い、設備も県内でも有数の設備が充実。今、さらにパワーアップしています。

医者だけではなく、周りのスタッフが医師に合わせよう、追いつこうと思って認定を取得するなど自らが取組んでいます。（因みにその取組によって、消化器科は県内でも多くの認定施設を取得しています。）メディカルスタッフはととても頼りがいがあり、緊急にも対応してくれます。

先生がやりたいことをやるためにスタッフとコミュニケーションを取ればやりたい診療を実現できるはず。医局の雰囲気は風通しがよいです。一人の診療科が多いなかで科を超えてカバーし合うために定期的に医局会が開かれます。また新年会、暑気払いや歓送迎会は必ず行っていて、医者同士のコミュニケーションを図っています。ぜひその雰囲気を現地に赴き、見て感じてほしいと思います。



副院長
消化器科
江尻 豊医師

【指導医からのメッセージ】

穏やかな人が多い地域、そして職場

地域医療支援病院、地域がん診療連携病院の看板をもち、スキルや技術についてはベテラン揃いの病院です。病診・病病連携を大事に患者さんを診ています。

こういう方に来てほしいということはなく、どなたでも頑張っておられる方であればありがたく、一緒にお仕事をしていきたいです。1 + 1 = 2ではなく、1 + 1 = 4や5という印象があります。マンパワーがとても大切であると考えています。

この地域（中通り）の人柄は、オープンな人が多いかもしれません。晴天率や天気リンクするのではないかと思います。いわきへ沈みがちだった人がくると、日照時間があるので明るくなるのかもしれない。当院は人間関係に困ることはないと思います、穏やかな人が多いので、どなたでもウェルカムです。一緒にがんばりましょう。



循環器科医師
鈴木 重文医師

症例はある、自ら切り開いていくことは大切

当院では研究費があり学術的な支援があります。自分は研究費を活用しつつ、さらに自ら工面してスキル・技術向上を目指して、当院で外科系分野の認定医、専門医、指導医、そして技術認定医を取得してきました。外科医としてやっていくためにも症例を集め、切り開いてきた部分はあります。自分が辿ってきたように、症例を積みたい、資格をとりたいという先生がいれば我々も全力でサポートしたい、資格を取らせてあげたいという思いがあります。資格取得をして、2年でも3年でも長く勤めてくれる先生にきていただけたら嬉しいです。

どの病院にいても直接一緒に仕事を行う各科の先生やスタッフとうまくやっていけるかが大事だと思います。



外科部長
宮澤 正昭医師

先輩研修医からのメッセージ



福島労災病院での研修開始から 3 ヶ月が経ち、少しずつ環境や診療にも慣れてきました。最初の 2 週間弱のオリエンテーションで職員の方々と近くで関わる機会があり、その後の研修でもコミュニケーションを取り易かったです。職員の皆さんは優しく接し易く、先生方も丁寧に指導して下さるので、緊張し過ぎずに研修できる環境が整っています。研修はわからないことだらけですが、すぐにフォローしていただけました。研修開始してすぐに自分で出来る人はおらず心配かと思いますが、診療の基本を一から教えてもらうことができます。

電子カルテの使い方から診療録の書き方、診療の初期対応から手技の手順まで様々なことを教わり、出来ることが増えてきました。これからも研修を続けていけば一步步でも一人前の医師に近づいていけるのではないかと感じております。

初期臨床研修医 赤池 和喜

【学会等認定施設一覧】

(令和2年度現在)

	学 会 名
1	日本内科学会認定医制度教育関連施設
2	日本消化器病学会認定医制度認定施設
3	日本消化器内視鏡学会指導施設
4	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
5	日本リウマチ学会教育施設
6	日本肝臓学会認定施設
7	日本整形外科学会専門医制度研修施設
8	日本眼科学会専門医制度研修施設
9	日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設
10	日本消化器外科学会専門医制度修練施設病院
11	日本外科学会外科専門医制度修練施設
12	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
13	内分泌・甲状腺外科専門医制度関連施設
14	日本がん治療認定医機構認定研修施設
15	日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
16	日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士取得に関わる実施修練施設
17	呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設
18	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設

■ 勤務条件

雇用形態	正規職員（常勤）
雇用期間	2年間
所属	福島労災病院 初期臨床研修医
給与	1年次 月額500,000円（他諸手当あり） 2年次 月額520,000円（他諸手当あり）
勤務時間	午前8時15分～午後5時（休憩45分、8時間勤務）
研修医当直	回数：月平均3回 当直手当：別途有り 当直時の勤務体制：当直医1名、研修医1名
休日	土曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始・創立記念日
有給休暇	採用6か月経過後10日付与
時間外勤務	必要に応じて時間外・休日勤務あり（手当別途支給）

■ 教育体制

臨床研修研究会	年4回実施
図書室	有り（医学専門誌多数）
研修医医局	あり。医局内に研修医用の専用机・ロッカーあり。
インターネット	院内LAN完備
外部研修参加	可能。学会・研修会参加費用支給（年額156,000円）
アルバイト	初期臨床研修に専念するため禁止。

■ 福利厚生

社会保険	健康保険・厚生年金・企業年金・労災保険・雇用保険・医師賠償保険（個人加入は任意）
宿舍等	・単身用（1k/家賃月6,900円/） ・世帯用（2DK、2LDK、3LDK、4LDK/家賃月額11,592円～29,465円）
福利厚生	健康診断年2回（法定健診）人間ドック（30歳から健保より約45,000円助成）
託児所	院内保育所あり

【福島労災病院の魅力】

手術風景



消化器合同カンファレンス



労災病院系列野球部優勝記念撮影
(平成29年度)



オープンハウス:子供の調剤体験



オープンハウス:子供の内視鏡体験



オープンハウス:
磐城高校オーケストラ演奏会



オープンハウスとは・・・

年1回（毎年11月）、病院の全施設を地域へ公開し、病院業務に親しみをもつていただくためのイベント。県立磐城高校のオーケストラの演奏会も開催。

【福島労災病院の魅力】

内科医局



研修医の若きプレイヤーを歓迎します！！

**病院見学はいつでも可能です。
お気軽にご連絡下さい！！**

【問い合わせ先】

福島労災病院総務課内 臨床研修医募集係／担当 江川、中村

TEL : 0246-26-1111

E-mail : joinus@fukushimah.johas.go.jp

